



もっと、知りたい！

## アカウンティングスクールの詳細

### <資格・学歴・入試方法>

入学資格は、大学既卒者が原則となります。学校教育法には、但し書きとして、『大学既卒者と同等であると認められた者』と示されていますので、例外的に高卒でも受け入れる大学院もありますが、非常に少ないと考えた方が良いでしょう。

大学既卒者の場合、卒業学部は問題とされません。ただし、社会人入試枠の中には、『企業において経理実務に携わっていた者に限る』とする大学院もありますので募集要項をよく確認することが大切です。

入試方法は、

●一般入試 ●学内入試 ●AO入試 ●社会人入試 ●指定校推薦 ●企業推薦 などがあります。

#### 【一般入試】

新卒者も含む受験者を対象としたもので、会計の基礎知識を問うことを中心とした筆記試験と面接が中心となります。とはいえ、これも一概には言えず、面接試験と口述試験を中心とした大学や、中には千葉商科大学のように一部 AO 入試方式を取り入れている大学もあります。

#### ●青山学院大学：【2年制入試】

書類審査，口述試験（簿記，財務会計）

#### 【外国人留学生入試】

書類審査，筆記試験（小論文），口述試験（簿記，財務会計）

#### ●大原大学院大学：筆記試験（財務会計，管理会計），書類審査，面接試験

#### ●関西大学：【学力重視方式】

筆記試験（簿記および原価計算）

**【素養重視方式】**

小論文, 面接

- 関西学院大学: **【A方式 (書類面接型)】**

書類審査, 面接試験

**【B方式 (筆記試験型)】**

書類審査, 筆記試験 (財務会計・管理会計), 面接試験

- 熊本学園大学: 書類審査, 専門科目, 面接
- 千葉商科大学: AO入試 (書類審査, 小論文, 面接)
- 東北大学: **【公認会計士コース】**

・一般選抜: 筆答試験 (会計学)

**【会計リサーチコース】**

・一般選抜: 筆答試験 (会計学), 口述試験

・自己推薦入試: 書類選考, 口述試験

**【ビジネスアカウンティングコース】**

・一般選抜: 筆答試験 (会計学), 口述試験

・自己推薦入試: 書類選考, 口述試験

- 兵庫県立大学: **【8月】**

筆記試験 (財務会計 (商業簿記を含む。) 及び管理会計 (原価計算を含む。)) のうちから 2 科目, 口述試験, 書類選考

**【2月】**

筆記試験 (財務会計 (商業簿記を含む。) 及び管理会計 (原価計算を含む。)), 口述試験, 書類選考

- 北海道大学: 学科試験

共通科目 (必須): 会計学

選択科目: 会計学, 経営学, 経済学, 統計学, 経営情報学から 1 科目

- 明治大学: **【A方式】**

書類審査, 面接試問

**【B方式】**

書類審査, 筆記試験 (財務会計論, 管理会計論),

## 面接試験

### 【C方式】

書類審査，面接試験（重点面接）

#### ●LEC会計大学院：書類審査

課題審査（税法または会計）

※税理士志望者のみ

短答式試験（簿記・財務分析）

※取得資格による免除要件あり

面接試験

#### ●早稲田大学：【会計専門コース】

筆記試験（財務会計，管理会計），口述試験

#### 【アクチュアリー専門コース】

筆記試験（数学（確率論，統計学）），口述試験

#### 【高度専門コース】

口述試験

## 【学内入試】

学内入試とは、アカウンティングスクールと同じ大学の学部卒業（予定）者を対象とした入試を指します。

入試の内容は、一次試験（会計学などの筆記試験）と二次試験（口述試験）を行う場合が多いです。

## 【AO入試】

AOとは、『アドミッション・オフィス』の略で、近年、取り入れられている入試方法のひとつです。学科試験はなく、書類選考と面接、小論文などによる選考で、自己推薦型入試とも言えます。

その特徴としては、書類と面接を中心に、受験生の意欲や積極性、アピール力などが重視されることや、論文やプレゼンテーションなど、『自分がアカウンティングスクールに入って何が学びたいのか』、『卒業後、何がしたいのか』などが問われ、その答えが大学院のポリシーに合っているかどうかで、合否が決められます。

小論文に関しても、会計に関する論文問題と一般的な時事論文などが

出題され、そのうちのどちらかひとつを選んで受験することができます。そういった意味では、会計の基礎がなくても意欲さえあれば受験できる方式です。

書類選考では、出願理由書、社会人の場合は活動実績、会計専門職大学院で学びたいこと、修了後のキャリアプランなどが合否のポイントとなります。

また、受験する際には、入学願書の提出と同時に、大学の卒業証明書や成績証明書、健康診断書なども必要となります。

## 【社会人入試】

一般入試に社会人枠を設けない大学院では、社会人向けの入試などを設けている場合があります。

具体的には次のとおりです。

- 青山学院大学：1年半制入試、1年制入試（いずれも書類審査、口述試験）
- 関西大学：資格取得者・社会人入試（書類選考、面接）
- 熊本学園大学：社会人入試（書類審査、小論文、面接）
- 千葉商科大学：社会人選抜入試（書類審査、面接）
- 北海道大学：特に社会人枠は設けないが、特別入試では社会経験に基づく応募が可能
- 早稲田大学：社会人経験を重視した入試（口述試験）

## 【企業推薦】

志望者の所属する企業から所定の企業推薦書を出願書類と同時に提出した受験者が対象となります。

## <履修方法（正科・科目別・聴講生）>

一般的には、修了要件単位数をすべて履修する正科が中心となりますが、アカウンティングスクールに正規に入学をしなくても、自分にとって必要な単位のみ履修する『科目等履修』『パッケージ科目履修』などを用意している大学院もあります。しかし、聴講生制度を導入している

大学院は非常に少ないのが現状です。

### ＜入学（正規・編入学・再入学・転入学・とび級）＞

正規の入学では、大学からストレートで進学する場合と社会人枠入学の2つの方法があります。学校によっては、社会人枠を設けていない場合もあります（ただし、その場合も受験は可能です）。

また、他の大学院からの編入についてですが、アカウンティングスクール側が、その人が履修した単位を認定すれば編入や転入学も可能です。学部には3年間在学した人の飛び級入学用の入試を設けているところもあります。再入学に関しては、新たに試験を受け直すと考えた方が良いでしょうが、大学院によって異なります。

### ＜学生数（男女比率・年齢比率）＞

現在、アカウンティングスクールのみでの学生数や男女比率、年齢比率などの統計は調査されておりません。

文部科学省が行った調査（令和6年度学校基本調査・大学院の年齢別入学者数）から、専門職大学院の合計で見ると、まず、入学者数に占める社会人比率は、普通の修士課程の8.8%に比べて、50.7%と大きく跳ね上がります。

また年齢比率で見ると、24歳以下が44.7%、25歳～29歳が12.6%、30歳～34歳が10.1%、35歳～39歳が10.0%、40歳～44歳が8.7%、45歳以上が13.9%となります。

学生数は、総計で22,253名。うち、男性が14,271名、女性が7,982名となります（令和6年度学校基本調査・大学院の専攻分野別学生数）。男性数に対して女性数が少ないのは事実ですが、これは、専門職大学院が女性にとって敷居の高い存在ということではなく、認知度の問題でしょう。

大 学	受験者	合格者	入学者の年齢構成	入学者の男女比率
青山学院大学	349 <sup>※, ※※※</sup>	105	20代 : 90 % 30代~ : 10 %	41名 : 36名
大原大学院大学	158 <sup>※</sup>	90	—	—
関西大学 <sup>※※※</sup>	198 <sup>※</sup>	66	20代 : 96.4 % 30代~ : 3.6 %	8 : 2
関西学院大学 <sup>※※※</sup>	192 <sup>※</sup>	73	—	—
熊本学園大学	45	38	20代 : 52.8 % 30代 : 25.0 % 40代 : 8.3 % 50代 : 13.9 %	21名 : 15名
千葉商科大学	—	103	20代 : 26.9 % 30代 : 32.8 % 40代 : 23.9 % 50代~ : 16.4 %	76.1% : 23.9%
東北大学 <sup>※※※</sup>	205 <sup>※</sup>	56	~30歳 : 43名 <sup>※※</sup> 31~40歳 : 3名 41歳~ : 1名	—
兵庫県立大学	57	24	20代 : 22名 30代 : 2名	18名 : 6名
北海道大学	54	30	—	77.3% : 22.7%
明治大学	274 <sup>※</sup>	108	20代 : 69% <sup>※※</sup> 30代~ : 14%	41名 : 39名
LEC会計大学院	139 <sup>※</sup>	75	20代 : 18 % 30代 : 35 % 40代 : 30 % 50代~ : 17 %	76% : 24%
早稲田大学	239 <sup>※</sup>	120	—	—

※志願者数。※※入学者割合。※※※春学期入学の入試結果。

### <取得可能な資格・免許>

公認会計士試験短答式試験や税理士試験の一部科目免除制度はありませんが、アカウンティングスクールを修了しただけで得られる資格や免許はありません。

『会計修士(専門職)』、『税務ファイナンス修士(専門職)』などの学位が授与されます。

## <学 費>

学費の目安としては、国立では、初年度の学費合計が約 80 万円ほど、私立では、170 万円ほどと考えておいた方が良いでしょう。

入学金については、内部進学者に対して優遇措置をとっている大学院もあります。また、授業料については、大半の大学院が、分納や延納を可能としていますので、問い合わせてみると良いでしょう。

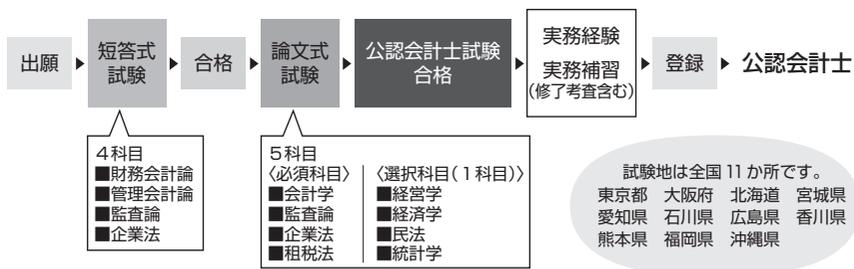
また、関西学院大学、千葉商科大学、早稲田大学など、大学院によっては、各種金融機関と提携して一般の学資融資よりも有利な条件での融資を受けられる制度を組んでいるところもあります。

		入学金	授業料他
国 公 立	北 海 道 大 学	282,000 円	535,800 円
	東 北 大 学	282,000 円	589,300 円
	兵 庫 県 立 大 学	*282,000 円	535,800 円
私 立	青 山 学 院 大 学	290,000 円	**1,440,000 円
	大 原 大 学 院 大 学	200,000 円	1,340,000 円
	関 西 大 学	260,000 円	1,330,000 円
	関 西 学 院 大 学	200,000 円	1,365,000 円
	熊 本 学 園 大 学	100,000 円	1,320,000 円
	千 葉 商 科 大 学	260,000 円	1,280,000 円
	明 治 大 学	200,000 円	1,433,000 円
	LEC 会 計 大 学 院	300,000 円	1,200,000 円
	早 稲 田 大 学	300,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計専門コース 1,615,000 円</li> <li>・ アクチュアリー専門コース 1,615,000 円</li> <li>・ 高度専門コース 2,233,000 円</li> </ul>

※県内在住者・内部進学者。※※キャリアデザイン・コース 2 年制。

## <公認会計士試験の基礎知識>

次の図のとおり、金融庁公認会計士・監査審査会が実施する①短答式試験と②論文式試験および日本公認会計士協会の実務補習所が実施する③修了考査の 3 段階に分かれています。



なお、アカウンティングスクールの修了者は、最初の試験である①短答式試験の 4 科目のうち財務会計論、管理会計論および監査論の 3 科目が免除されます。詳しくは、次の金融庁公認会計士・監査審査会のホームページにアクセスしてください (<https://www.fsa.go.jp/cpaaoob>)。

**<税理士試験の基礎知識>**

次のとおり会計学に属する科目の 2 科目と税法に属する科目のうち受験者の選択する 3 科目（所得税法と法人税法のいずれか 1 科目は必ず選択しなければなりません）について行われます。また、受験者は一度に 5 科目を受験する必要はなく（科目合格制）、1 科目ずつ受験でき、科目合格に有効期限はありません。

会計科目	2 科目合格	簿記論および財務諸表論
税法科目	3 科目合格	所得税法、法人税法、相続税法、消費税法または酒税法、国税徴収法、住民税または事業税、固定資産税

なお、大学院（アカウンティングスクールを含む）で修士論文を執筆して修了すると、その論文が会計学に関するものであれば会計科目 1 科目が、税法に関するものであれば税法科目 2 科目が免除されます。詳しくは、次の国税庁のホームページにアクセスしてください (<https://www.nta.go.jp/taxes/zeirishi/zeirishishiken/zeirishi.htm>)。



## アカウンティングスクール選びの チェック・ポイント

### <大学選びのポイント>

大学選びのポイントとしては、

●プログラム ●開講日 ●会計学未履修者への対応を行っているかどうか といった点が挙げられます。

#### 【プログラムについて】

各アカウンティングスクールによって授業の中身なども違いますので、まず、どの大学院が自分の一番学びたいものとマッチするか、を基本に選ぶのが良いでしょう。専門職大学院の場合は、大学の名前（ステイタス）などではなく、自分が何を学びたいか、そのためにどのようなプログラムが用意されているか、そういう実をとらないと意味がありません。

具体的には、各大学院が養成する人材とカリキュラム体系と特徴をまず検討すること。体系がよりきめ細かいことが学生にとっては重要なポイントになります。次に資格取得の可能性やそのための授業プログラムをとっているかどうか。さらに、まったく会計について学んでいない学生にフォロー授業が行われるかどうかも大きなポイントです。

大学院の教職員もチェックポイントの対象になります。研究者教員と実務家教員がどの程度の割合でいるかどうか。実務家教員の割合が高ければ、実務教育の水準が高いといえるでしょう。

また、アカウンティングスクールは、主として公認会計士育成を目指す大学院ともいえますが、大学院によっては、税理士、米国 CPA、アナリスト、企業内 CFO、非営利・公的機関の会計専門職など、複数のオプションがある場合があります。そうしたオプションがあるかどうかも大学院選びのポイントになります。

## 【開講日について】

社会人入学を目指す場合は、サテライト・キャンパスでの授業や、夜間または土曜・日曜などの授業が開講されているかどうか大きなポイントとなります（各校での例は p.5 の「リカレント教育」をご覧ください）。

これらは、入学願書を出す前に、よく確認をしておいた方が良いでしょう。

## 【会計学未履修者への対応を行っているかどうか】

アカウンティングスクールの場合、大学既卒者が入学資格となりますが、どの大学のどのような学部を卒業したかは、問題とされません。そのため、ある程度の会計の基礎があればほとんどの大学院が入学はできます。しかし、大学院によっては、基礎科目がなく、入学することはできたが、授業についていけないということは十分に考えられます。

ほとんどの大学院は「基礎科目」という名称の授業を行っていますが、そのレベルがどの程度か、あらかじめ各校で公開しているシラバス（授業予定）などをチェックしておくことも重要でしょう。

会計学未履修者に対しては、基礎科目を設ける以外に、各校では次のような仕組みを設けています。

- 青山学院大学：e-ラーニングでの入学前講座（会計学入門コース）による事前予習
- 大原大学院大学：事前学習制度あり
- 関西学院大学：「簿記原理（3級）」や、「簿記基礎（2級）」、「工業簿記基礎（2級）」などの授業の開講
- 千葉商科大学：会計基礎科目の開講
- 熊本学園大学：通常の講義科目に先だって「会計リテラシー」を集中講義で開講
- 兵庫県立大学：主要領域に基本科目を配置

## ＜学び方・授業内容＞

学び方については、人それぞれ条件が異なりますので、一概にはいえませんが、社会人の場合は、通勤しながら、いかに授業についていくかがポイントになります。

また、キャンパス内に各学生ごとの自習机を用意している大学院や、投書箱を置いて、学生の意見（ニーズ……例えば「講義の分かりやすさ」、「学習に必要な設備への要望」など）をすかさず講義内容や設備充実に反映させていくという大学院もあります。

次に授業内容ですが、基本的な会計・財務に関する授業に加えて、以下のような、特色ある授業も置かれています。そのため、大半のアカウンティングスクールでは、きめ細かい指導として、少人数の学生を対象としたゼミ（演習）教育が行われています。

### ・英語での授業もある！

国際的感覚を備えた会計専門職業人養成のために、日々の講義や事例研究などで、英語を多く取り入れた授業が開講される。

例：北海道大学（英文会計）、東北大学（ネイティブ・スピーカーによるコミュニケーション関連講義）、青山学院大学（会計英語）、大原大学院大学（英文会計）、明治大学（国際会計研修）、LEC 会計大学院（実用英語演習（基礎・応用）、専門英語（基礎・応用））、関西大学（英文会計論、BATIC演習）、関西学院大学（英語コミュニケーション関連科目）。

### ・ディベートを学ぶ！

会計・監査などの具体的事例について、自分の頭で考え、判断し、解決する能力を養うためにディベートなど学生参加型の授業方法が行われる。

### ・双方向授業で能力を磨く！

判断したことを当事者に正しく伝達するためのプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高める討論や質疑応答など、双方向・多方向の授業が多い。

### ・IT 知識を身につける！

コンピューターを使用した分析手法を身につけるための実践授業（関西大学など）や、会計・税務実務に関わる Word, PowerPoint, Excel の実践授業（LEC 会計大学院）など。